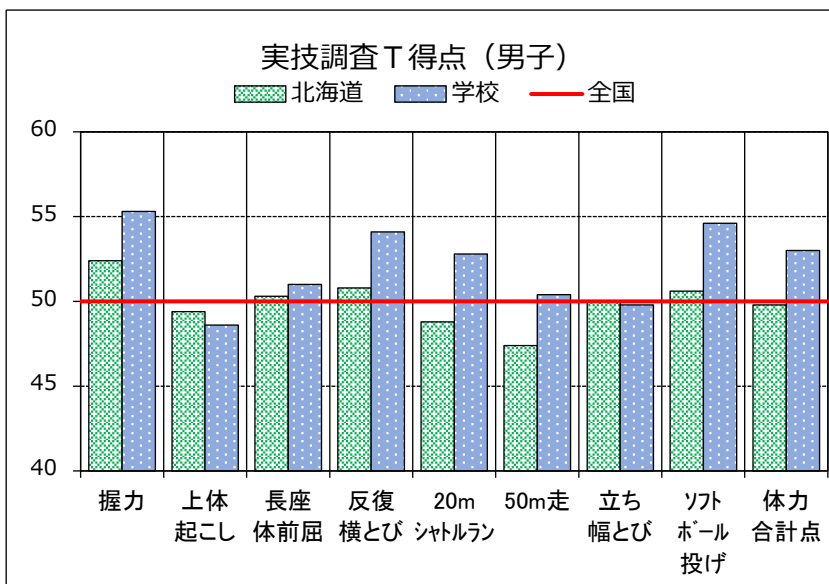


令和元年度体力テスト（5学年）の結果と分析

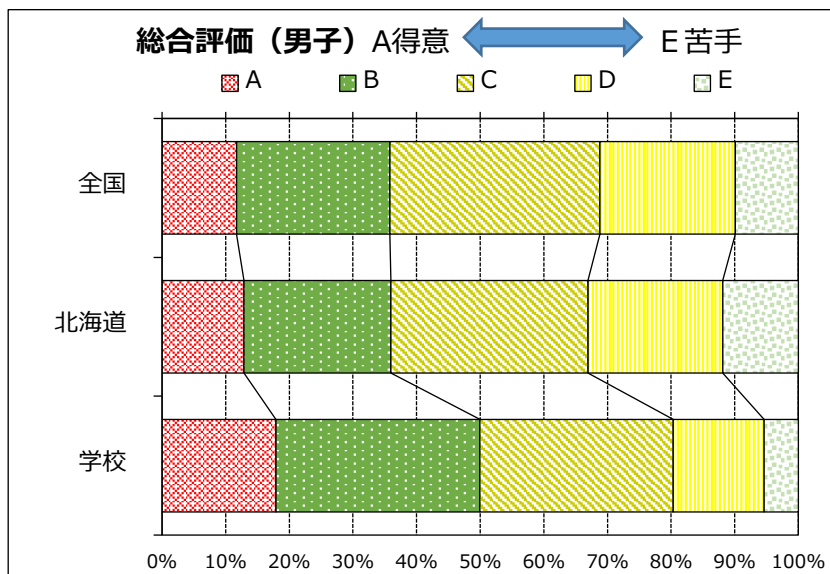
今年度の体力テストの結果の分析を交えてご報告いたします。

1. 本校5学年の結果について

①男子の結果

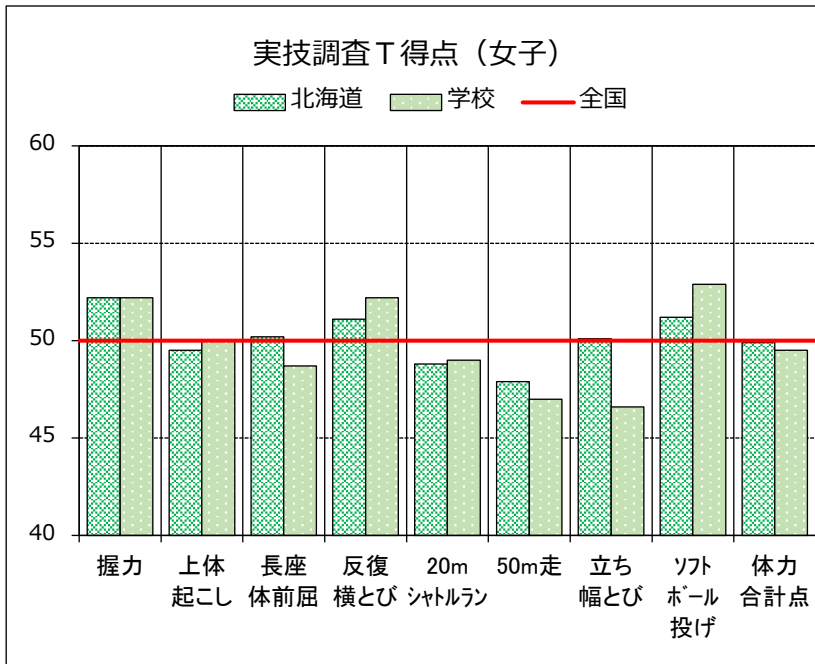


男子の結果から、体力合計で全国や北海道内の平均値より高い結果となっています。特に『握力』『ボール投げ』において高い得点をあげています。また、昨年度から見ても、高い数値となり、伸びが見られます。「上体起こし」において低くなっていました。



総合評価（A得意→E苦手）では、AB値（得意な割合）－DE値（苦手な割合）が、全国や北海道と比べても高くなっており、運動が得意な児童が多いことがわかります。

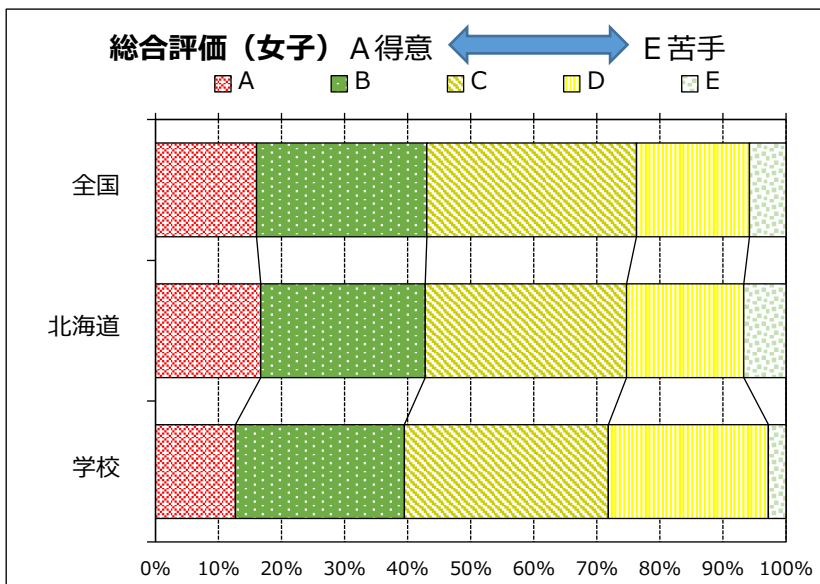
②女子の結果



女子の結果から、体力合計で、全国や北海道と比較して、下回っていました。

「握力」「ボール投げ」において高い得点になっています。昨年度から見ても伸びが見られました。

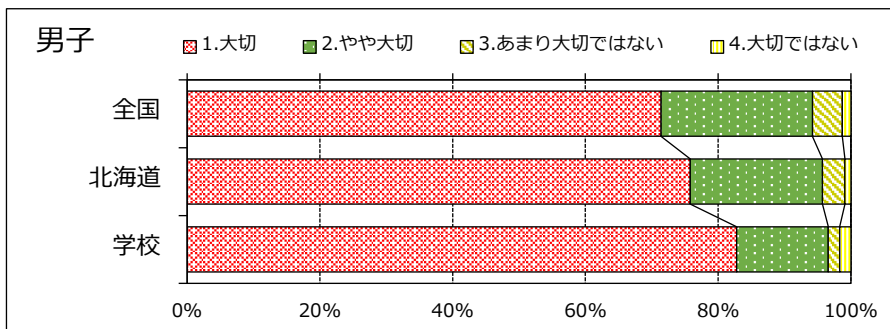
しかし、「20mシャトル」「50m走」「立ち幅跳び」で得点が低くなっています。「立ち幅跳び」については、全国や全道と比較して大きく低くなっています。



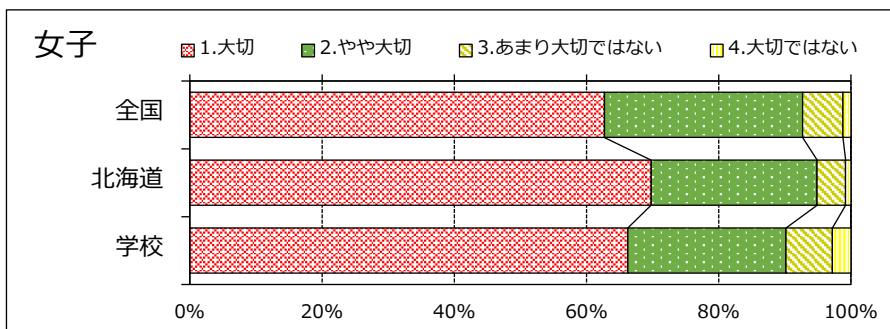
総合評価（A得意→E苦手）では、AB値（得意な割合）-DE値（苦手な割合）が、全国や北海道と比べて低くなっていて、運動が若干苦手な児童が多い傾向が見られました。

2. 質問紙の結果から

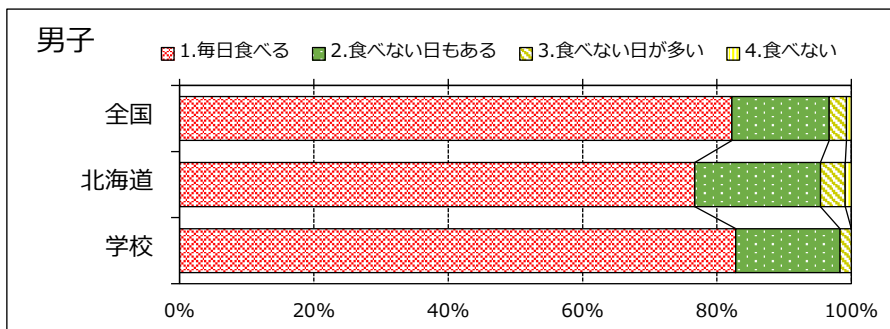
①あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。



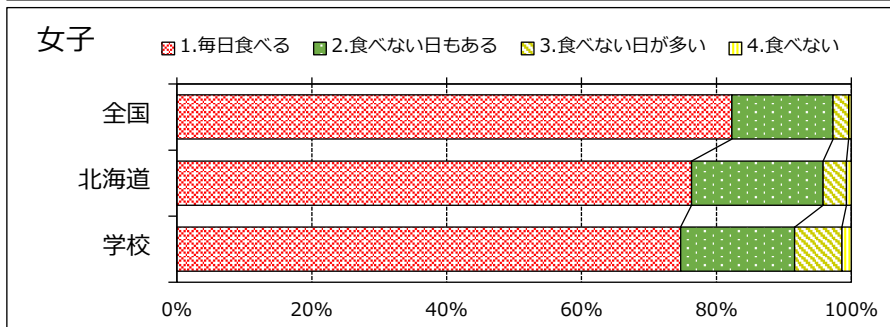
男子は、大切と考
えている児童が多
くなっています。し
かし、女子が少な
いことがわかります。



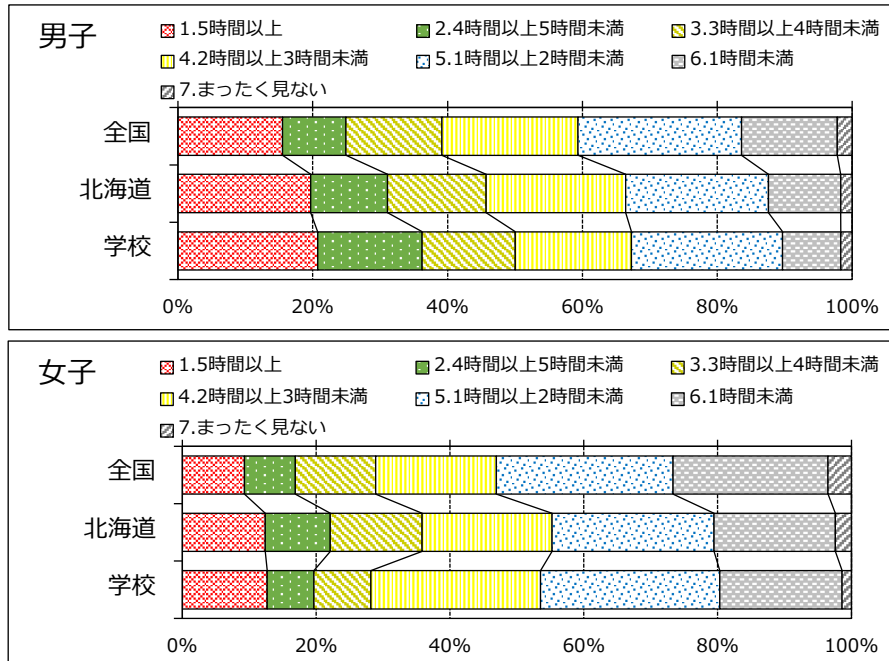
②朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)



男子も女子も朝
食を食べない児童
がある程度いるこ
とがわかりました。
その中でも女子は、
朝食を食べない児
童が多いことがわ
かりました。



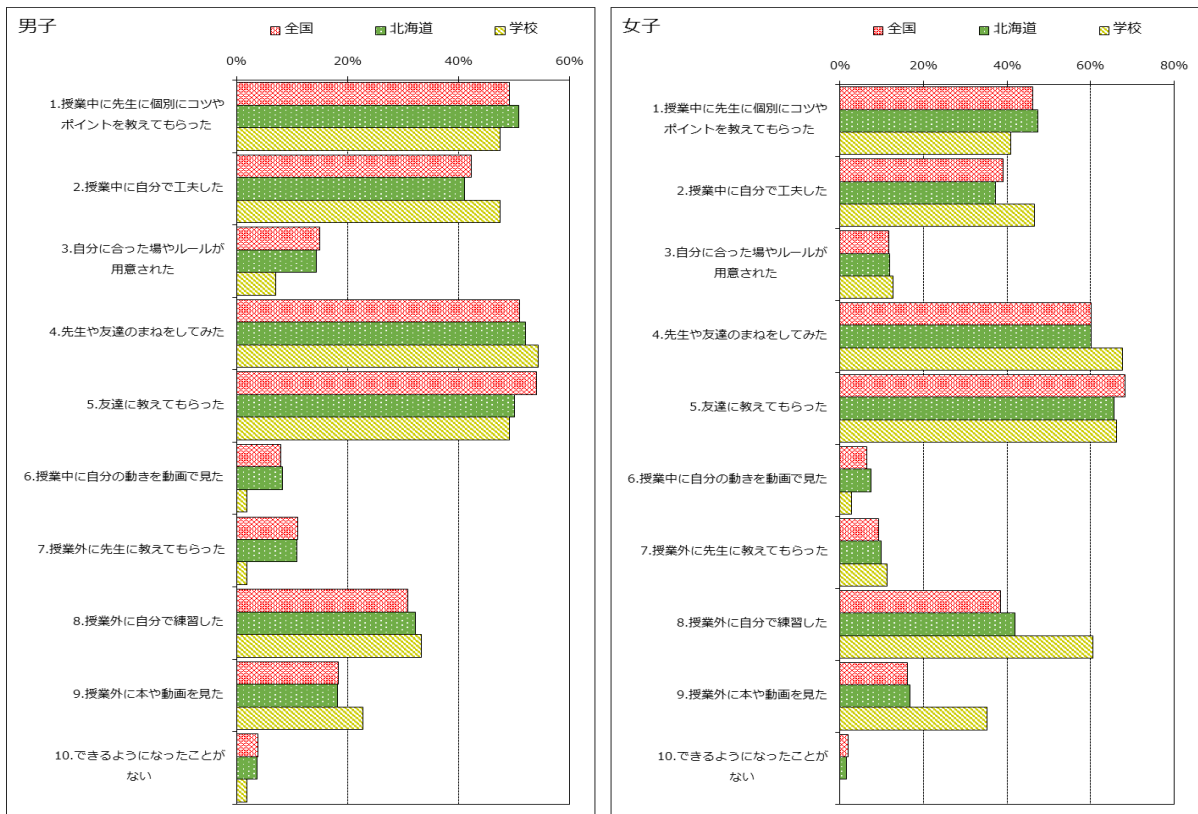
③平日（月～金曜日）について聞きます。学校以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



男子も女子も全国や全道と比較してもメディアに接している時間が長いことがわかります。

④これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由は何のようなものがありましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

男子も女子も友達と教え合うことや工夫することにポイントが高くなっています。



3. 結果からの考察

本校5年生の結果から、男女ともに「握力」「ボール投げ」において数値が高く、昨年度よりも伸びていることがわかります。これは、昨年度から続けている縄跳びの取組によって握力が伸びているのではないかと考えられます。また、ジャベリックスローの運動器具を導入し教員のミニ研修を行い、効果的な活用を知ったことが成長につながったのではないかと考えられます。

また、今回は、AB値-DE値で男子と女子に差が見られました。これは、質問紙からも「メディアを見る時間」「朝食を食べるか」で男女差があることもわかりました。生活習慣も運動につながるのではないかとということが考えられます。

体力調査の種目の結果から、全体として「立ち幅跳び」「50m走」「上体起こし」で数値が低かったので、児童が取り組むことができる機会を増やしていかなければならないと考えます。そのために、

①体育の授業では

準備運動の一つに、「その場で立ち幅跳び」、「短い距離のダッシュ」など短い時間で運動に慣れる機会を増やそうと考えています。そして、体を動かす時間をしっかりと確保できるようにしていこうと考えています。

友達と教え合う場面や協力する場面を授業の中で取り入れて、「できた」と感じられるような授業になるように工夫していこうと考えています。

②休み時間など

休み時間に利用できるよう校内の一角を体力広場とし、「立ち幅跳び」「上体起こし」コーナーを設置し、運動する場面を増やそうと考えています。また、「ドッジボールコート」や「けんけんぱ」を使えるように整備を継続し、体力調査の結果を活かした運動を子ども自身が進んで取り組めるようにしていきます。

③家庭との連携

テレビやゲーム、インターネット動画等のメディアに接する時のきまりや、規則正しい生活を送ることの大切さについて、外部講師を招聘した講演会を保護者の方も一緒に聞くことができる機会をつくるなど、家庭と連携していけるようにしていきます。

以上の3点を次年度取り組んでいこうと考えています。